（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

**平成29年10月1日※1**
（前回公表年月日：平成29年5月1日）

# 職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 専門学校<br>浜松医療学院 | 平成13年3月27日 | 臼井 義雄 | 〒434-0038<br>静岡県浜松市浜北区貴布祢232番地の3<br>（電話）053-585-1333 |
| **設置者名** | **設立認可年月日** | **代表者名** | **所在地** |
| 学校法人森島学園 | 平成13年3月27日 | 森島 康之 | 〒434-0038<br>静岡県浜松市浜北区貴布祢232番地の3<br>（電話）053-585-1333 |

| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
|---|---|---|---|---|
| 医療 | 医療専門課程 | 柔道整復学科 | 平成16年文部科学省<br>告示第17号 | ― |

| 学科の目的 | 本校の柔道整復学科は、人間が本来持っている自然治癒力を呼び起こし、回復に導くために必要な知識・技能および態度を修得し、健康な人間性を持ち、医療・保健及び福祉の充実及び発展に貢献できるはり師きゅう師の養成を行うことを目的とする。 |
|---|---|
| 認定年月日 | 平成26年3月31日 |

| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3年 | | 2400時間 | 1490時間 | ― | 45時間 | ― | 865時間 |
| | | | | | | | 単位時間 |

| 生徒総定員 | 生徒実員 | 留学生数（生徒実員の内） | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 180人 | 151人 | 0人 | 9人 | 18人 | 27人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学期制度 | ■前期：4月1日～9月30日<br>■後期：10月1日～3月31日 | 成績評価 | ■成績表：　有<br>■成績評価の基準・方法<br>学期末・学年末の試験、実習成果、履修状況を総合的に勘案して行う。 |
| 長期休み | ■学年始：4月1日<br>■夏　季：8月14日～8月18日<br>■冬　季：12月27日～1月4日<br>■学年末：3月21日～3月31日 | 卒業・進級条件 | 本学院の教育課程の修了又は卒業は、所定の課程の授業科目にすべて合格した者について進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ、学院長が認める。 |
| 学修支援等 | ■クラス担任制：　有<br>■個別相談・指導等の対応<br>長期欠席者への指導等の対応<br>学生と保護者及び担任による三者面談及び学科長等による面談を継続する。 | 課外活動 | 日本赤十字社献血協力、浜松シティマラソンボランティア、介護老人保健施設八幡の森夏祭りボランティア<br>■サークル活動：　有 |

**就職等の状況※2**

■主な就職先、業界等（平成28年度卒業生）

接骨院、鍼灸接骨院、病院、介護施設等

■就職指導内容

就職説明会、就職ガイダンス、キャリアデザイン講座

| | | |
|---|---|---|
| ■卒業者数 | 34 | 人 |
| ■就職希望者数 | 26 | 人 |
| ■就職者数 | 22 | 人 |
| ■就職率 | 84.6 | % |
| ■卒業者に占める就職者の割合 | 64.7 | % |

■その他

・進学者数：4人
・在職者数：4人

（平成　28 年度卒業者に関する
平成29年5月1日 時点の情報）

**主な学修成果（資格・検定等）※3**

■国家資格・検定/その他・民間検定等
（平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報）

| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 |
|---|---|---|---|
| 柔道整復師<br>国家試験 | ② | 31 人 | 25人 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

**中途退学の現状**

■中途退学者　2　名　■中退率　1.5 %
平成28年4月1日時点において、在学者134名（平成28年4月1日入学者を含む）
平成29年3月31日時点において、在学者132名（平成29年3月31日卒業者を含む）

■中途退学の主な理由

学校生活不適応、経済的理由による就学継続困難、学業不振等

■中退防止・中退者支援のための取組

学生と保護者及び担任による三者面談及び学科長等による面談を継続する。

**経済的支援制度**

■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有（社会人入学サポート制度、遠隔地入学者助成制度）

■専門実践教育訓練給付：　非給付対象

**第三者による学校評価**

■民間の評価機関等から第三者評価：　無

**当該学科のホームページURL**

URL　https://www.morishima.ac.jp/index.php

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

①就労に必要な知識、技能、態度を意欲的に学習できるよう、就労体験を計画的・系統的に実施する。
②自己理解、他者理解を深め、はり師きゅう師として良好な人間関係を構築できるよう、コミュニケーション能力の育成を図る。
③企業等の専門的な経験・能力を重視し、企業等の人材を活用した指導計画を立案する。
④企業等の人材を活用し、はり師きゅう師としての最新の領域について理解を深めるとともに、そこに必要な知識・技能・態度を身につける。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

学内組織の中に職業実践専門課程委員会を設置、その傘下に教育課程編成専門部会を置き実践教育に向けた協議の場としている。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

| 名　前 | 所　　属 | 任期 | 種別 |
|---|---|---|---|
| 臼井 義雄 | 専門学校浜松医療学院 学院長 | 平成29年4月1日（～2年） | |
| 井口 満広 | 専門学校浜松医療学院 教頭 | 平成29年4月1日（～2年） | |
| 鈴木 康仁 | 専門学校浜松医療学院 教務部長 | 平成29年4月1日（～2年） | |
| 中小路 正敬 | 公益社団法人静岡県鍼灸師会 | 平成29年4月1日（～2年） | ① |
| 森上 克彦 | 公益社団法人静岡県柔道整復師会 | 平成29年4月1日（～2年） | ① |
| 生熊 建次 | 専門学校浜松医療学院 教務部顧問 | 平成29年4月1日（～2年） | |
| 加藤 幸夫 | 専門学校浜松医療学院 事務長 | 平成29年4月1日（～2年） | |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催日時）
第1回　平成29年6月22日　19:15～20:15
第2回　未定

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会での意見を教務委員会ならびに学科内で検討している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

①現場を肌で感じ、治療家として必要な豊かな人間性を養う。
②最新の測定・評価を学び、患者個々に最適な治療プランを導き出す。
③あらゆる患者に対応できる臨床技術を総合的に体得する。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

実技授業を通じて現場で活用できる技術の体得を目標としている。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科　目　名 | 科　目　概　要 | 連　携　企　業　等 |
|---|---|---|
| スポーツと福祉 | 自己及び他者の身体と密接に関わる中で細かな人間観を育むことを目標とする。日本赤十字社救急員養成講座・社会保障制度の理解 | (有)敬愛会 |
| 柔道整復実技2 | 軟部組織損傷の総論において、損傷メカニズムの理解をもとに、実技を中心により理解を深める。 | ニレ接骨院 |
| 柔道整復実技3 | 実技認定試験科目を中心として、臨床上必要とされる柔道整復術を修得する。 | ニレ接骨院 |
| 柔道整復臨床実習<br>柔道整復実技5 | 臨床教育の総括的な場として柔道整復師が必要とする総合力を身に付ける。 | まぶち鍼灸接骨院 |
| 柔道整復実技4 | 柔道整復臨床実習を踏まえ、測定方法・病例検討などの総復習を行い、将来の臨床現場における施術方針選択について適切な判断力を養う。 | あすみ接骨院 |

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

①カリキュラム内容に関する学術・技術力向上のため学会・研修へ参加する。
②学校協会が主催する研修会へ参加する。
③県職業教育振興会の主催する研修会に該当教員の参加を義務付ける。

(2)研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

日本柔道整復接骨医学会、日本超音波骨軟組織学会等

②指導力の修得・向上のための研修等

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団主催研修会、静岡県職業教育振興会主催研修会、柔道整復学校協会教員研修会等

(3)研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

日本柔道整復接骨医学会、日本超音波骨軟組織学会等

②指導力の修得・向上のための研修等

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団主催研修会、静岡県職業教育振興会主催研修会、柔道整復学校協会教員研修会等

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

職業実践専門課程としての社会的役割と貢献に向けた学校作りのために評価を行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|---|---|
| (1)教育理念・目標 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (2)学校運営 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (3)教育活動 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (4)学修成果 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (5)学生支援 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (6)教育環境 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (7)学生の受入れ募集 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (8)財務 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (9)法令等の遵守 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (10)社会貢献・地域貢献 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (11)国際交流 | ガイドライン評価項目と同様 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

PDCAサイクルを用いた学校運営活動に活用している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

| 名　前 | 所　　属 | 任期 | 種別 |
|---|---|---|---|
| 中小路 正敬 | 公益社団法人静岡県鍼灸師会 | 平成29年4月1日～(2年) | PTA |
| 森上 克彦 | 公益社団法人静岡県柔道整復師会 | 平成29年4月1日～(2年) | 企業等委員 |
| 水口 勝善 | 公益社団法人静岡県柔道整復師会 | 平成29年4月1日～(2年) | PTA |
| 村松 剛司 | 公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会 | 平成29年4月1日～(2年) | 卒業生 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ

URL: http://www.morishima.ac.jp/index.php

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

関係業団ならびに企業・事業所に向けて本校の教育活動について広く周知を求めることを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|---|---|
| (1)学校の概要、目標及び計画 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (2)各学科等の教育 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (3)教職員 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (6)学生の生活支援 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (7)学生納付金・修学支援 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (8)学校の財務 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (9)学校評価 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (10)国際連携の状況 | ガイドライン評価項目と同様 |
| (11)その他 | ガイドライン評価項目と同様 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法　ホームページ

URL: https://www.morishima.ac.jp/index.php

# 授業科目等の概要

（医療専門課程柔道整復学科）平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | スポーツと福祉 | | 1通 | 80 | 5 | △ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | 情報管理学 | | 1通 | 80 | 5 | △ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 健康科学 | | 2前中 | 60 | 4 | △ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | 解剖学１ | | 1通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 解剖学２ | | 1通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 生理学１ | | 1通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 生理学２ | | 2通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 運動学 | | 2後 | 20 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 公衆衛生学 | | 1通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |

# 授業科目等の概要

（医療専門課程柔道整復学科）平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 病理学 | | 2通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 一般臨床医学 | | 2通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 外科学 | | 1中後 | 50 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 整形外科学 | | 2前中 | 60 | 2 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | リハビリテーション医学 | | 3前中 | 60 | 2 | ○ | | △ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 医学史 | | 1前 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 保健医療 | | 3通 | 80 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | |
| ○ | | | 柔道１ | | 1通 | 40 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 柔道２ | | 2通 | 40 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |

# 授業科目等の概要

（医療専門課程柔道整復学科）平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 柔道整復関係法規 | | 3前 | 30 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 基礎柔道整復学１ | | 1通 | 80 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 基礎柔道整復学２ | | 1通 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 基礎柔道整復学３ | | 2通 | 60 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 臨床柔道整復学１ | | 2通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 臨床柔道整復学２ | | 2通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 臨床柔道整復学３ | | 3通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復学総合１ | | 3通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 柔道整復学総合２ | | 3通 | 80 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |

# 授業科目等の概要

（医療専門課程柔道整復学科）平成29年度

| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 柔道整復学総合３ | | 3通 | 90 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復実技１ | | 1通 | 90 | 3 | △ | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復実技２ | | 2通 | 160 | 5 | △ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技３ | | 3通 | 80 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | 柔道整復実技４ | | 3通 | 80 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| ○ | | | 柔道整復実技５ | | 3通 | 95 | 3 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| ○ | | | 柔道整復臨床実習 | | 3中後 | 45 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 34科目 | 2400単位時間(93単位) | | | | | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|---|---|---|
| 所定の課程を修了した者について成績評価のうえ会議にて決定する。 | １学年の学期区分 | 前中後期 |
| | １学期の授業期間 | 10～15週 |